

令和 6 年 3 月 25 日

アフガニスタンから日本に退避した元本学留学生と  
家族への支援についてご報告

広島大学では、令和 3 年（2021 年）8 月にアフガニスタンで政変が起こった直後、アフガニスタンに帰国している元本学留学生（元留学生）の受け入れを表明し、日本の大学で初めてアフガニスタン特別対策室を設置し、対応にあたってきました。

令和 6 年（2024 年）1 月をもって、支援が終了しましたので、ご報告させていただきます。

本学の支援対象となった支援対象者は、元留学生 11 人及びその家族を含め 51 人で、支援した人数の規模は日本最大級（大学）であります。

具体的な支援内容につきましては、本学において元留学生を学術研究員（6 カ月）として雇用したほか、雇用期間中の日本語教育や就職支援、住宅の確保、家族の日本語教育の提供、子供たちが通学する小中学校との教育環境整備です。

その結果、元留学生 11 名の進路先は、5 人が国内就職・1 人が海外就職（ベルギー）、1 人が国内進学・1 人が海外進学（アメリカ）、2 人が事情によりアフガニスタン帰国、1 人が現在も就職活動中です。

また、この元留学生の受け入れにあたっては、広島大学の他、関係機関（東広島市、広島県、JICA 中国、ひろしま国際センター及びユニタール広島）の協力を得て「チーム広島」を結成し支援を続けました。特に元留学生の子供を受け入れるために東広島市教育委員会や地元の小学校には初めて外国人を受け入れる小学校もあり、子供の教育環境整備にご尽力いただきました。また、令和 5 年からは JICA とも連携して日本に定着するために日本語教育や就職支援を実施しました。

なお、本学の取り組みに対して、クラウドファンディングに加え、現金や生活雑貨などの寄附（※）、その他の各種支援や応援のメッセージなどをいただくことができましたので、この場を借りて御礼申し上げます。

（※総額 584 万円＝クラウド 464 万円＋寄附 120 万円）

【お問い合わせ先】

国際室

グローバル化推進室 梅下

TEL:082-424-2028 FAX:082-424-6179



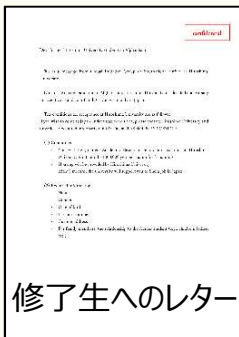
## 背景・経緯

- 本学では、令和3年（2021年）までに41人のアフガニスタンからの留学生を受入
- 令和3年（2021年）8月の政権交代以降、アフガニスタン情勢が緊迫化
- 命の危険を感じた修了生らから、退避と保護の協力要請の声が本学に届いた



## 1 令和3年（2021年）8月の主な動き

- 8月15日 カブール（首都）陥落
- 8月23日 現地在住の本学在籍生から受入教員へ助けを求める連絡有り
- 8月24日 他大学の情報収集、



学内会議で人道支援の検討、

→ **日本で初めてアフガニスタン特別対策室を設置**



**元留学生のアフガニスタン脱出及び来日支援・資金面での援助を決定**

- ① ビザ取得支援、外務省、出入国在留管理局との折衝。
- ② 職名「学術研究員」で6か月有給雇用。
- ③ 臨時住居の提供、生活支援、就職支援。

職を失い、農作業する元留学生



## 2 暮らしの確保

住居確保、就職支援、元留学生の日本語教育、家族の日本語教育、子供の教育環境整備





### 3 チーム広島を結成、支援内容の協議・情報共有

広島大学、東広島市、広島県、JICA 中国、ひろしま国際センター、ユニタール広島、広島大学アフガニスタン学生連盟（生活支援・就職支援）

地域全体で高度人材の受け入れを行う新たな挑戦

### 4 クラウドファンディング等のご寄附 合計5,840,000円

うち、クラウドファンディング 4,640,000円 実施期間2022年5月23日~6月30日

### 5 令和6年（2024年）2月現在の状況（支援した人数の規模は最大級）

16人	来日 本人のみ	来日 家族帯同	JICA/JICE 支援研修 参加	在住国	進路
1	●		●	アフガニスタン	本人の意思で帰国
2	●			日本	進学（広島大学）
3		●		米国	進学（州立大学）
4		●	●	日本	就職（広島県内企業）
5	●			日本	就職（農場）
6		●		日本	就職（ちとせグループ）
7		●		アフガニスタン	本人の意思で帰国
8		●		ベルギー	就職（名門大学）
9		●	●	日本	就職活動中
10		●	●	日本	アルバイト<フルタイム> （矢野食品（株））
11		●		日本	就職（イーセップ（株））